

鉄の意外な魅力 資料200点で紹介

鎖製造会社に博物館

鉄の面白さを紹介するスペース「鉄のふしぎ博物館」が、姫路市飾磨区の鎖製造会社でオープンした。アメリカ産の「天然磁石」や宇宙から飛来した「隕鉄」、色の異なる砂鉄など約200点を展示しており、同社では「鉄の意外な魅力を知って」とPRしている。

企画したのは、バイク用のチェーンロックを手がける同市飾磨区阿成渡場の「衣川製鎖」社長の衣川良介さん(63)。約50平方メートルの会議室で、南アフリカやボリビアなど約20か国の資料

を公開している。

目玉は、アメリカ・ユタ州の「天然磁石」。火成岩に含まれる磁鉄鉱の一種で、長さ数センチのクギを引きつける。アフリカ・ナミビアで発見された隕鉄は、太陽系の小惑星から飛んできたという。神奈川県や鳥取県など国内20か所の川や浜辺で採れた砂鉄は、赤みがかっていたり、真っ黒だったり。ニッケルやコバルトなどは、手触りを楽しむことができる。

入場無料だが、事前の予約が必要。申し込みはファクス(079・234・1519)か、メール(tyo@memenet.or.jp)で。問い合わせは同社(079

・234・1515)へ。